

別紙

令和5年度新潟県立燕中等教育学校4学年研修旅行業務 委託業者選定プロポーザル仕様書

※この仕様書は、令和5年度新潟県立燕中等教育学校4学年研修旅行業務委託業者選定プロポーザルにおける、必要な事項を定めたものである。

1 旅行の目的

- (1) 英語圏での生活と研修施設における学習を通して、英語運用能力を高める。
- (2) 事前準備や研修中の交流を通して、自国及び他国の言語や文化について理解を深める。
- (3) 異文化体験を通して、自国とは異なる生活習慣や言葉の壁等を乗り越え、様々な人々と交流し、豊かな国際感覚を身に付ける。

2 旅行期間

令和5年10月10日（火）頃から9泊10日程度とする。ただし、新型コロナウイルス感染症等でこの期間での実施が難しい場合は、令和6年10月末までの間に同程度の日程で実施する。なお、令和6年10月までの間に海外渡航が難しい状況の場合は、国内に旅行先を変更して令和6年12月10日頃までに3泊4日程度の日程で実施する。

3 旅行先

オーストラリアのケアンズ、又は英語を母国語とする日本人学生の受け入れを可能としている都市とする。ただし、令和6年10月末までの間に海外渡航が難しい状況の場合は、国内で上記1の目的を達成できる語学研修施設や都市とする。

4 参加人数

令和5年度4年生 78名、 引率教員 3名

5 予算

海外へ旅行する場合、生徒1人あたり 350,000円以内
国内へ旅行する場合、生徒1人あたり 180,000円以内
(消費税、地方消費税、事前・事後研修費用を含む)

6 旅行企画について

(1) 必須条件について

- (ア) 提案する海外の旅行先は、1都市とする。ただし、新型コロナウイルス感染症等の理由で前項2の旅行期間に渡航できない場合は、延期して実施することとする。その場合、費用は見積もり限度額を超えないようにする。
- (イ) 令和6年10月末までの間に海外渡航が難しい場合は、国内で前項1の目的を達成できる語学研修施設や都市に旅行先を変更して実施できるよう、国内での研修案も1案提案する。その際の旅行期間は令和6年12月までとし、研修日数は3泊4日程度とする。
- (ウ) 旅行先は、治安がよく、安全面について心配がない都市を選ぶ。
- (エ) 旅行先での事故、病気、新型コロナウイルス感染症等へのサポート体制を充実させること。
- (オ) ホームステイを7～8日間、移動を2～3日間程度のプランとすること。(予算の関係で、日程を短くすることも可能。)
- (カ) 現地学生と交流できるようなスケジュールとすること。
- (キ) 事前研修、事後研修も有益なものとする。

(2) 希望する活動について

- (ア) ホームステイ
- (イ) 現地学校での授業体験(学校訪問をし、バディとともに、授業に参加する。複数の学校に分かれて実施することも可能とする。)
- (ウ) 語学研修(レベル別英会話授業や、異文化理解のための授業など)
- (エ) 現地学校生徒との授業以外での交流
- (オ) 現地の自然や文化、生活に触れる活動
- (カ) 事前研修として、3日間程度の英語学習、国際及び現地理解に関する研修(令和5年8月頃)
- (キ) 事後研修として、研修報告書(冊子)の作成及び成果発表会(校内)
- (ク) 現地交流校生徒との、オンラインや電子メールによる交流

(3) ホームステイについて

- (ア) ホームステイは原則、生徒1～2人に1家庭とする。
- (イ) ホームステイの形態と、現地での体験活動内容について、詳しく提案すること。
- (ウ) ホストファミリーの決定時期と、トラブル等があったときの対応についても提案すること。(ホストファミリーの変更の仕方も含めること)
- (エ) ホストファミリーと学校のバディは、同じかどうかを提案すること。(同じ場合と違う場合のメリットやデメリットもそれぞれ挙げる)
- (オ) 週末は、ホストファミリーと日中も過ごす形態にすること。

(4) その他

- (ア) 上記仕様以外に、業者独自の付加価値・サービスを提案すること。
- (イ) 事前研修や事後研修等の内容等についても詳しく提案すること。
- (ウ) 研修旅行欠席者に対しての代替研修メニューについても提案すること。
- (エ) 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に伴う医療費などが発生した場合、旅行保険が使えるものには保険を適用し、保険が適用できないものについては別途徴収すること。
- (オ) 出国前に、出入国に隔離期間が必要であることが発覚した場合や、予定通りの渡航ができなくなりそうな場合は、キャンセル料が発生しないうちに、旅行を延期、又は中止すること。
- (カ) 生徒と保護者へのオリエンテーションを実施すること。